

平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号	38 - 016	マスタープラン 3つの挑戦	子育て	マスタープラン 施策番号	3 - 4	局・課名	教育委員会事務局・生徒指導課
区分	新規・拡充						(単位 千円)

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			
事業費	11,081	12,523	16,336	
事業期間	H20 ~ H	全体事業費		
関連事業 教育委員会事務局 スクールカウンセラー配置事業 教育委員会事務局 スクールサポート事業 教育委員会事務局 生徒指導支援事業				
事業目的 いじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の課題や児童虐待に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、児童生徒の置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカー（SSW）を活用し、教育相談体制を整備する。	今年度要求のポイント 平成25年に施行されたいじめ防止対策推進法で、いじめに係る取組に、学校の組織における福祉等に関する専門的知識を有する者の活用が盛り込まれた。今後の区教育審議会設置にも対応するため、スクールソーシャルワーカーを1人増員し、各区担当のSSWとして配置する。			
事業内容 ・SSW6人を区担当として各区（東区・美原区は1人で担当）に配置し、家庭児童相談室や保健センター等と連携しながら、子どもや家庭への適切な支援を図る。 ・SSW3人を緊急的な事案や重大な事案に対して派遣し、機動的に対応する。また、チーフとして区担当SSW6人に対しアドバイスを する。 ・SSWスーパーバイザー1人を配置し、専門家の立場からSSW及び活用事業全体に対しアドバイスするほか、SSWの資質向上のため研修を行う。	主な要求内容 (単位：千円)			
	項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
	謝礼金	11,760	15,750	SSW(区担当) 4,000円×3時間×140回×6人 チーフSSW(チーフ) 4,500円×3時間×140回×3人
	スーパーバイザー謝礼金	384	360	チーフSSW・SSWへの指導・助言 8,000円×1時間×45回
	研修講師謝礼金	92	69	チーフSSW・SSW及び校長対象 23,000円×3回
	研修会会場費	0	30	10,000円×3回
	連絡協議会旅費	287	64	31,800円×2回
	保険料	0	63	SSW活動中の補償
	合計	12,523	16,336	
スケジュール（経過及び今後展開）				その他 特記事項
【経過（～25年度）】 H25SSW8人を配置	【26年度】 SSWを9人に拡充	【今後（27年度～）】 効果的な活用方法を検討		